

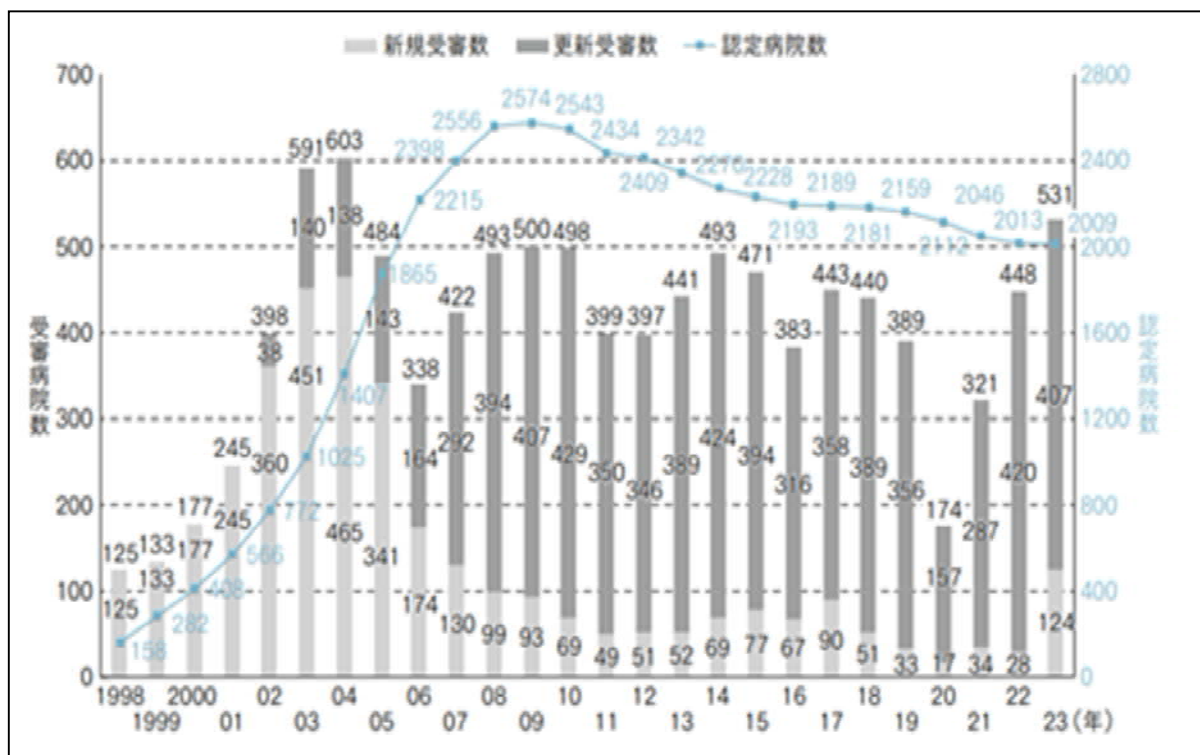
日本病院機能評価（JQ）と国際医療機能評価機構（JCI）認証 について

1 日本病院機能評価（JQ）について

日本病院機能評価（JQ）は、日本医療機能評価機構が実施する第三者評価制度であり、病院の医療の質、安全性、運営体制を客観的に評価する仕組みです。

評価は、診療の質、患者安全、組織運営、職員教育、医療環境など多岐にわたり、一定の基準を満たした場合に認定されます。本制度の本質は合否ではなく、現状の可視化と継続的改善の促進にあります。5年毎の審査（更新）を通じて、業務手順の見直しや標準化が進み、特定の人しか分からない業務運用が解消され、医療安全対策の強化につながることが期待されます。さらに、審査更新によって、継続的な改善が求められるため、一過性ではない医療の質等の向上の仕組みとして機能しています。【図1参照】

【図1】 全国の 受審病院数・認定病院数の推移（2024年12月31日）



※2026年4月末の時点では、受審病院は約2,200件

※県内の自治体病院では、13病院中10病院が取得

2 国際医療機能評価機構（JCI）について

JCI とは、1994 年に米国の病院評価機構の国際部門として設立された非営利組織で、「医療の質」と「患者安全」を国際的な基準で評価することを目的とした機関です。厳格な審査基準を有し、世界で最も難易度の高い認証機関として知られています。診療だけでなく、事務、設備、委託業務を含む病院運営全体を対象とし、約 1,200 項目に及ぶ評価項目について評価がなされます。

特徴は、実際の患者の外来から入院、退院に至るまでの診療過程を追跡する「トレース法」により、実際に現場で医療安全や業務手順が適切に実践されているかを厳格に確認する点にあります。評価結果は「適合」「部分適合」「不適合」に区分され、特に患者安全に関する項目は重点的に審査されます。【図 2、3 参照】

【図 2】日本国内の JCI 認証医療機関一覧（2026 年 2 月現在）

・福岡徳洲会病院（Hospital Program） ・McSYL 翼病院（Hospital Program） ・名古屋大学医学部附属病院（Academic Medical Center Hospital Program） ・日本赤十字足利病院（Hospital Program） ・亀田メディカルセンター（Hospital Program） ・藤田医科大学病院（Academic Medical Center Hospital Program） ・中部徳洲会病院（Hospital Program） ・三井記念病院（Hospital Program） ・日本赤十字愛知医療センター名古屋第二病院（Hospital Program） ・船橋整形外科病院（Hospital Program） ・埼玉医科大学国際医療センター（Academic Medical Center Hospital Program） ・東京アドベンチスト病院（Hospital Program） ・南砺市民病院（Hospital Program） ・聖隷浜松総合病院（Hospital Program） ・東京西徳洲会病院（Hospital Program） ・NTT 東日本関東病院（Hospital Program） ・湘南鎌倉総合病院（Hospital Program） ・聖路加国際病院（Hospital Program） ・八尾徳洲会総合病院（Hospital Program） ・済生会熊本病院（Hospital Program） ・医誠会国際総合病院（Hospital Program） ・東京ミッドタウンクリニック（Ambulatory Care Program）	認証が全国で約 30 病院 自治体病院では全国初
--	--

【図3】一般病院の審査基準2つのセクションと14の章

【患者中心型の基準 Patient-Centered Standards】 ・ 国際患者安全目標(IPSG) ・ ケアへのアクセスとケアの継続性(AOC) ・ 患者と家族の権利(PFR) ・ 患者の評価(AOP) ・ 患者のケア(COP) ・ 麻酔と外科的ケア(ASC) ・ 薬剤の管理と使用(MMU) ・ 患者と家族の教育(PFE)
【医療機関管理基準 Health Care Organization Management Standards】 ・ 医療の質の改善および患者の安全(QPS) ・ 感染の予防と管理(PCI) ・ ガバナンス、リーダーシップおよび監督(GLD) ・ 施設管理と安全性(FMS) ・ 職員の資格と職員教育(SQE) ・ 情報管理(MOI)

3 南砺市民病院が日本病院機能評価と国際医療機能評価機構を受審した理由

南砺市民病院では、医療の質と安全を客観的に高め、真に地域から信頼される病院であり続けるため、日本病院機能評価に加え、国際医療機能評価機構による評価を受審しました。

日本病院機能評価は、国内基準により組織体制や業務の整備状況を確認し、医療提供の基盤を強化する役割を担います。一方、国際医療機能評価機構による評価は、国際基準に基づき、その仕組みが現場で確実に実践されているかを評価し、実践の質と継続的改善を求める役割を担います。南砺市民病院では、この両者を受審することによって、「体制（仕組み）」と「実践（現場運用）」の両面から医療の質を高められました。

また、外部評価により課題が明確化されるとともに、改善サイクルが組織に定着し、利用者の信頼性の向上や医療従事者に選ばれる病院としての価値を高めています。

南砺市民病院がJQ認証、JCI認証を受審した目的と認証取得によってもたらされたこと

JQ認証とJCI認証は、ともに医療の質向上を目指すものですが、そのアプローチや重点の置き所、そして参照する基準が異なります。

認証名	日本病院機能評価（JQ認証）	国際医療機能評価機構評価（JCI認証）
実施主体	公益財団法人日本医療機能評価機構	JCI: Joint Commission International
特徴	日本の医療法や関係法令、医療慣行に基づいた評価基準となります。 <u>医療機関の「構造」と「過程」に重点を置き、医療の質と安全性を確保するための組織体制やプロセスの整備状況を評価</u> します。 医療機関が適切に運営され、患者に一定水準以上の医療が提供されているかを確認し、改善を促す <u>国内の標準的な評価ツールとして広く利用されていることから、その病院の医療提供体制に係る評価指標の1つとなります。</u>	世界的に統一された医療の質と患者安全に関する国際基準（JCI Standards）に基づいています。 <u>単に「仕組みがあるか」だけでなく、「その仕組みが実際に現場で運用され、成果を出しているか」という「結果」や「プロセス」の遵守状況を非常に厳しく評価</u> します。患者中心の医療、患者安全、感染管理、薬剤管理、施設安全など、多岐にわたる項目で国際的なベストプラクティスが求められます。
受審コスト	約1,900千円	約14,000千円
役割	<u>医療提供体制の基盤固め、医療機関の透明性向上</u> 、患者への情報提供、地域連携の促進など	国際的な医療水準の達成、医療ツーリズムの誘致、グローバルな競争力強化、 <u>組織文化の継続的改善への誘導</u> など
南砺市民病院がJQ、JCIを受審した目的	南砺市民病院がJQ（日本病院機能評価）とJCI（国際病院評価機構）の認証取得を目指した主な理由は、「医療の質と安全性の継続的な向上」、「改善活動を推進する病院文化の醸成」そして「持続可能な病院運営の実現」にあります。 ①医療の質と安全性の継続的な向上 JQ認証の取得を通じて医療の基盤となる組織体制とプロセスを整備し、その上で、JCI認証の取得を通じて国際的な視点を取り入れた「定期的な自己評価と継続的な改善活動」を組織全体で実践することにより、医療提供の「体制（仕組み）」と「実践（活動）」の両面から医療の質と安全性を高めることを目指しました。 ②改善活動を推進する病院文化の醸成 JQで確立した「基盤となる仕組み」が、JCIの厳しい国際基準に照らして「実践され、継続的に改善されているか」を検証するサイクルを回すことで、組織全体で医療の質と安全性を高め続ける「学習する組織」への変革を目指しました。 ③病院の競争力強化と持続可能な発展 JQとJCIという国内外の権威ある認証を取得することによって、南砺市民病院の「ブランド力」と「信頼性」を大きく向上させ、地域住民からの信頼構築と優秀な医療従事者の確保を目指しました。	
認証取得によってもたらされたこと	① 医療の質と安全性の飛躍的向上 JQ認証取得による「体制（仕組み作り）」の確立に加え、2度にわたるJCI認証の取得（更新）により、「実践（定期的な自己評価と改善活動の継続化）」が病院全体に根付き、医療の質と安全性を両面から高める相乗効果的な医療提供体制が構築されました。これにより、患者さんに対して、より安全で安心な医療を提供できる基盤が強化されました。 ②改善を続ける病院文化の定着 「体制」と「実践」が一体となった改善サイクルが病院文化として院内に根付いたことによって、患者さんへの安全で質の高い医療提供を確実にするとともに、医療従事者の確保にも大きく貢献しました。特に、職員採用試験においては、これらの認証取得による高いレベルの医療の質と安全が築かれている点を、志望動機として挙げる受験者が非常に多く、優秀な人材が集まる要因となっています。 ③信頼の獲得と病院経営への貢献 費用対効果という観点からは、医療の質向上への投資を金銭だけで検証することは困難ですが、患者さんや医療従事者の「安全安心」を確保し、「信頼度」を高めることによって、受診者の増加、紹介率の向上、そして質の高い優秀な人材の確保に貢献し、長期的な視点での収益増に寄与することが期待されます。これは、単なる医療費収入だけでなく、安定した病院運営、ひいては地域医療の持続可能性を支える重要な要素となっています。	